

(様式第1号)

令和6年6月10日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 水戸 保
記録員 横山 愛
班員 水戸 芳美

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和6年5月21日(火) 19時 ~ 20時	
2 会 場	市立蔵増公民館	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	2名	
5 報 告 内 容	令和5年度の議会活動状況など	
6 意見交換の内容 (議会・議員及び市政 に対する意見、提 言、要望等)	市 民	議 員
	田んぼダムの取り組みについて 大変ありがたい提案だと思う。 三郷堰は下流のほうで、寺津、藤内新田では有効だが、このあたりは天童土地改良区のほうが有効だ。議会でも強力に進めてもらいたい。 以前も田んぼダムの話は天童土地改良区で出たことがあったが、できなかった経緯がある。三郷堰でできたのに天童土地改良区ではできな	常任委員会や会派でも、三郷堰などに視察へ赴き、田んぼダムのシステムをきちんと勉強、理解したうえで、経費、補助金なども精査しながら、上流地域でも検討したい。 近年のゲリラ豪雨などで、川ですべての水を受け入れるには限界がある。一時的に田んぼに貯めておくことは非常に水害の軽減策として有効である。 経費もかかることから、市民の田んぼダムへの理解を得

	<p>いのはなぜなのか。</p> <p>蔵増地区は、水害についてみんな非常に心配している。まちづくり懇談会でも毎回議題にあがる。継続的に発信していたため、最近はそのほうでも対策を講じてくれるようになって有難いが、さらに踏み込んだ対策をお願いしたい。</p>	<p>ながら進めていく。</p> <p>水害対策は、河川整備だけでなく、田んぼダム、山に広葉樹を植えるなど、様々な工夫が必要だ。</p> <p>集中豪雨のときは、避難所に駆け込まなければならず、大変だと思う。</p> <p>所管課に意見要望として伝える。</p>
	<p>水害の場合はスポーツセンターが避難所となる。これまで2回（3年前で約300人、5年前で約100人）避難した。広さはいいが、間仕切りがない、高齢者は地べたに座るのも大変だ。段ボールでもいいので腰掛けるものなどあればいいと思う。そういったものを避難所に準備しておいてもらいたい。</p>	<p>今年度予算もついているが、プライバシー保護のための対策は必要だ。所管課に意見要望として伝える。</p> <p>（調査結果）</p> <p>避難所では、感染対策やプライバシーに配慮した運営が重要となるので、ワンタッチテントや段ボールパーティション等を活用して対応することとしている。</p> <p>現在のところ、各避難所での保管数量に限りがあるため、計画的に新規購入又は更新していく。</p> <p>高齢者等の腰掛けについては、市立公民館等にあるイス等を活用したいと考えている。</p>
	<p>避難するときの地区民の名簿を作成したいが、個人情報とって教えてもらえない。高齢で一人で避難できない</p>	<p>どこもそういった問題を抱えている。どういった方法が可能か所管課に伝える。</p>

	<p>人を把握したいが、非常に困っている。個人情報保護だけが一人歩きしていて、防災対策にのみ使用するためでも教えてもらえない。防災対策をしましょうといわれても、これではできないのではないか。</p> <p>上貫津の格知学舎に先日行ったら、劣化が激しく、管理されていないようだった。雰囲気はいいのもったいない。市で購入して管理できないのか。</p>	<p>(調査結果)</p> <p>災害時に自力避難が困難な避難行動要支援者の名簿については、本人の同意を得られたものは、平時から、自主防災会や民生委員などの支援関係者に情報共有を図っている。</p> <p>なお、災害の際は、同意が無い方の分も含めた避難行動要支援者の名簿情報を提供することができる。</p> <p>しかし、その他の地区民の名簿については、個人情報保護の観点から、災害時の安否不明者情報を除き、市から情報を提供することは困難なため、御理解をお願いしたい。</p> <p>管理していた財団法人が解散して個人の管理になっているようだ。</p> <p>管理費のことを考慮すると、市で購入しての管理は難しい。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>2人のみの参加であり、参加者は少なかったが、地域特有の課題を聞くことができた。</p> <p>蔵増地区での水害を経験していることなどから、防災意識の高さがうかがえた。今後の施策を検討する際の参考にしていこう。</p>	